

群馬県

(全域)

コンニャクの土壌病害の総合防除対策

【1. 概要】

- ・種いも温湯消毒と輪作等により、根腐病を中心とした土壌病害の効果的な防除を実施
- ・温湯消毒機が40台以上導入。緑肥導入面積H19:308ha→H25:325ha(県内導入率9.5%)
- ・IPM推進リーフレットを作成し導入を推進

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・コンニャクの主要病害である根腐病、腐敗病等の伝染経路は、種いも伝染と土壌伝染
- ・対策として、土壌くん蒸剤による土壌消毒や薬剤による種いも消毒が行われているが、さらに低コストで薬剤に頼りすぎない防除体系の確立が求められていた
- ・種いも伝染防止対策として温湯消毒機(官民共同開発)、土壌伝染防止対策として緑肥輪作による総合防除体系を実証した(図1、2)

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・現地実証ほにより、技術の実用性を検討
- ・現地検討会、講習会等での説明、巡回での確認や指導
- ・IPM推進リーフレットを作成し生産者や指導者に配布して導入推進

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

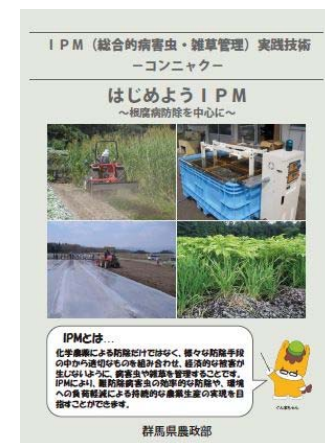
- ・県西部地域の根腐病の被害面積率が大きく減少した(図3)
- ・IPM体系により、土壌くん蒸剤の使用回数を従来の最大1/2に削減した



図1. コンニャク種いも温湯消毒機



図2. 輪作作物(ソルゴー)



IPM推進リーフレット

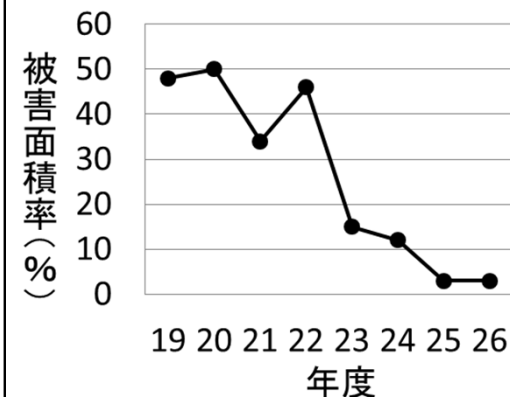


図3. 西部地域におけるコンニャク根腐病の被害面積率の推移(西部農業事務所調べ)

【問い合わせ先】

群馬県農政部技術支援課生産環境室植物防疫係
電話：027-226-3038